

がん化学療法指示書

登録番号 249

作成日 2020/1/8

レジメン名	CBDCA+PEM+Atezolizumab
診療科・対象疾患	(呼)非扁平上皮非小細胞肺癌
投与間隔	3週毎
投与サイクル数	4コース

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
テセントリク	アテゾリズマブ	1200mg/body	Day1
ペメトレキセド	ペメトレキセド	500mg/m2	Day1
カルボプラチン	カルボプラチン	AUC=5 (max6)	Day1

	滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール																
							day1													day21			
治療内容	注射		Rp1	生理食塩液	100ml	任意	ルート確保・フラッシュ用	●															
			Rp2	パロノセトロン(0.75mg)	1袋	15分	点滴静注メイン	●															
				デキサート(6.6mg)	1瓶																		
			Rp3	生理食塩液	100ml	60分※1	点滴静注メイン	●															
				癌 テセントリク(アテゾリズマブ)	1200mg																		
			Rp4	生理食塩液	50ml	15分	点滴静注メイン	●															
								経過観察用															
			Rp5	生理食塩液	100ml	10分	点滴静注メイン	●															
				癌 ペメトレキセド	500mg/m2																		
			Rp6	生理食塩液	250ml	60分	点滴静注メイン	●															
				癌 カルボプラチン	AUC=5																		
			内服																				
その他必要薬剤	<ul style="list-style-type: none"> ・アブレピタント(125mg): 1cap分1 ルートキープ時に内服(day1) ・アブレピタント(80mg): 1cap分1 朝食後に内服(day2,3) ・デカドロン(デキサメタゾン)4mg: 2錠 朝食後に内服(day2,3) ・葉酸: 1日1回0.5mg(ノバンタン末1g)を初回治療前の7日前から服用し、最終治療後21日後まで連日服用 ・ビタミンB12: 1mg(メチコバール500 μg2A)を初回治療1週間前および以降は3サイクル(9週)毎に筋肉注射 																						
総投与時間	(初回)2時間45分・(2回目以降)2時間15分																						
血管外漏出リスク	テセントリク(アテゾリズマブ): 非壊死性抗がん剤 ペメトレキセド: 非壊死性抗がん剤 カルボプラチン: 炎症性抗がん剤																						
投与時の注意事項	テセントリク(アテゾリズマブ)はフィルター付きルート要 ※1テセントリク(アテゾリズマブ)の投与速度 初回投与の忍容性が良好であれば2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる ペメトレキセドはNSAIDsとの併用は注意(ペメトレキセドの血中濃度が増加し副作用が増強される可能性がある)																						
備考欄	Infusion Reaction Grade2の場合、テセントリク(アテゾリズマブ)の投与を直ちに中止する。1時間以内に回復する場合には、投与速度を50%減速して再開する。 Infusion Reaction経験例では、次回より投与30分前に以下薬剤で前処置を行う。 レスタミンコーワ10mg 5錠 アセトアミノフェン300mg 2錠																						